

令和6年度 東伊豆町立稲取小学校 グランドデザイン

国の方針「生きる力」の育成

- ・確かな学力
- ・豊かな心
- ・健やかな体

静岡県の方針 有徳の人の育成

- ・自立した人
- ・関わり合いを大切に人
- ・社会の一員として行動する人

東伊豆町の基本理念

- ・「心ゆたかな人づくり」を目指す
- ・「東伊豆で育ってよかった。東伊豆で暮らしてよかった。」と実感できる教育の推進



《 学校教育目標 》

明るく共に高め合う 稲取っ子

めざす子供像

- 授業で活発に話し合える子
- 元気なあいさつができる子
- 仲間とともに、めあてに向かって挑戦できる子

笑顔あふれる学校

【 学校経営目標 】

- (1) 学校教育の要である授業を大切に、学びの実感をもてる授業づくりを通して、確かな学力の育成を図るとともに、地域の教育資源を生かした特色ある教育を推進する。
- (2) 人との関わりを大切に、認め合う心を育てるとともに、自己有用感を培う。
- (3) 「チーム稲小」の一員としての自覚をもち、協働して学校運営にあたるとともに、業務の効率化を図る。

短・中・長期のPDCAを効果的に実施し、授業及び教育課程の改善を図る。

【 重点目標 】

元気なあいさつ交わそう！

活動のキーワード

進んで

思いやり

粘り強く

学習推進部

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

活動推進部

主体的・対話的で深い学びの充実

基礎基本の定着

- ・「聞く」「話す」の基づくり
- ・指導スタンスの明確化
- ・ICT機器の意図的計画的な活用(教師・子供)
- ・自主学習の充実

読書活動の日常化

- ・朝読書
- ・週末読書の推進
- ・推薦図書を活用
- ・図書アドバイザー、読み聞かせボランティアとの連携

特別の教科「道徳」の推進

- ・考え議論する授業実践(学習の足跡)
- ・重点「相互理解」「寛容」への取り組み

交流・連携・体験活動の充実

- ・地域の学習素材を生かした授業及び活動
- ・G.Tの発掘、連携と計画的な活用

体育活動の生活化

- ・目標をもって取り組む場設定
- ・授業内の運動量確保と活動の生活化

多文化共生・人権・自治、異年齢活動の充実

支持的風土を生み出す学級経営

- ・発達段階に応じた学級会活動の充実
- ・意図的な子供に任せる場の設定
- ・人権教育の手引き、人間関係プログラムの活用

自主的、実践的な態度を育てる特別活動

- ・子供が主役の児童会、委員会活動の充実
- ・学級会と代表委員会の確かな連携
- ・縦割り活動の充実と活性化

積極的な生徒指導

- ・児童理解に基づいた{確かな信頼関係}{人間関係}の構築
- ・プロセス時の意図的、積極的な賞揚
- ・あいさつは「いつでも どこでも 誰とでも 何度でも」

命を大切にする指導

- ・「自分の命は自分で守る」意識の涵養と力の育成
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
- ・保健指導と食育指導の連携強化

「生徒指導機能を生かす」

研修 ... 『主体的に学び、考えを深める子』～課題設定、見通し、伝え合いに焦点を当てた授業改善～

5
ス
テ
ジ

I 「団 結」

- 学習ルールを身に付ける
- 気持ちの良いあいさつ

II 「学び合い」

- 話し手を見て聞く
- 友達の良い技を見習う

III 「挑 戦」

- 自分の意見を伝える
- めあてに向かって運動

IV 「認め合い」

- 考えを深める
- 相手を大切に言葉遣い

V 「感 謝」

- さらに力を伸ばす
- 感謝の気持ちをもって生活

地域連携・幼小中高連携の推進

異校種間連携

- ・幼小中高連携打合せ(年2回)
- ・校内研修の情報交換
- ・公開授業・出前授業
- ・児童会&生徒会の交流

稲取小中合同評議員会 (稲取地区学校運営協議会)

- ① 育てたい子供像の共有
- ② 連携の地域基盤づくり
- ③ 地域学校協働活動の推進

社会に開かれた教育課程』の実現

SC・SSW・関係機関との連携